

「気候危機フォーラム」報告

生産者と組合員が共に気候危機に立ち向かう！

4月13日(土)、国際障害者交流センター「ビッグ・アイ」(堺市南区)にて「気候危機フォーラム」を開催しました。基調講演、パネルディスカッション、「生活クラブでんき」の説明の3部構成で、生産者29名、組合員28名、役職員22名の計79名が集いました。生産現場における気候危機の現状について情報共有し、気候危機に立ち向かう手段のひとつとして「生活クラブでんき」について伝えました。参加者が共に気候危機に立ち向かう一歩を踏み出すきっかけとなるフォーラムになりました。

(報告者:常務理事 山路 登葉)

組合員の思いを形にした 風車「夢風」

基調講演は「一般社団法人グリーンフアード秋田」事務局長で「生活クラブエネルギー事業連合」職員の鈴木伸予さんが「生活クラブの気候危機の取り組み」と題し、首都圏4単協(東京、神奈川、千葉、埼玉)で立ち上げた生活クラブ風車「夢風」に関わる組合員活動や、各地の発電所の事例を紹介しました。



鈴木伸予さん

生活クラブがエネルギーの自給に取り組んでいる意義が参加者に伝わり、「電気も消費材のひとつ」「発電所のある地域と対等互恵の関係」という点に多くの共感が寄せられました。

生産現場の現状を知る！

続いて第一次産業に従事する生産者に登壇いただき「気候危機に立ち向かう」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。パネラーは「豊共園」の梶本元文さん、「三重県漁業協同組合連合会」常務理事の井村直樹さん、「(有)王隠堂農園」の王隠堂正悟哉さん、基調講演講師の鈴木さんの4名で、コーディネーターはエスコープ大阪専務理事の石川雅可年が務めました。

各生産者からは生産現場における気候危機

の影響や対策について報告していただき、参加者と情報共有しました。また、それぞれの生産者が気候危機対策としてできることについて意見を出し合いました。

参加者からは、

「思っていたより生産現場は大変

な状況だとわかった」「今は食べられている農作物や魚も、いつか食べられなくなるのではないか」「怖くなった」などの感想があり、生産現場の生の声には訴える力があつたことがうかがえました。

「生活クラブでんき」を 伝えよう！

「生活クラブでんき」について、「(株)生活クラブエナジー」元業務執行理事の荒川展道さんから説明していただきました。電力に関する

一般的な情報から、組合員からよく質問がある電源構成や調達先についての基本的な情報、割



荒川展道さん

り戻しや電気料金 の改定(値下げ)など、「生活クラブでんき」の推進活動に役立つ情報についても話していただき



梶本元文さん 井村直樹さん 王隠堂正悟哉さん 鈴木伸予さん 石川専務

ました。

組合員から停電時の対応に関する質問があり、他の電力会社と同様であることや、自然エネルギーの電力が不足した時の電力調達についての説明がありました。参加者からは「今日学んだことを周りの組合員に伝えていきたい」という感想がありました。

「生活クラブでんき」で 持続可能な社会を 実現しよう！

フォーラム終了後、生産者、推進者(組合員、役職員)による昼食懇親会を実施し、生産現場における気候危機の影響や取り組みについてとについて生産者全員からひとつずついただきました。「どの生産者も気候危機に頭を抱えていることを改めて実感した。自分もがんばってこう!」と励みに感じた生産者や、「自分たちの事業所でも、何か取り組みないか話し合ってみる」という声もありました。

今回のフォーラムは組合員が「生活クラブでんき」の取り組みをすすめる決起となっただけでなく、生産者から生産者へ取り組みのヒントや励ましを伝える場にもなりました。

2024年度、エスコープ大阪では年間を通じて「生活クラブでんき」へのスイッチング(切り替え)に取り組みます。「生活クラブでんき」は私たち組合員にとっての道具です。その道具を使って私たちが目指すのは、脱原発・脱炭素を実現して持続可能な社会を作ることです。次の世代が安心して暮らせる社会を目指して、「生活クラブでんき」へのスイッチング1000件を目標に、みんなががんばりましょう！



生活クラブ
でんき

組合員と生産者がともに安心な食べ物をつくっている生活クラブ。原料やつくり方について納得して利用したいという思いは電気も同じです。電気もみんなで利用し育てていく消費材だと考え、2016年より「生活クラブでんき」の共同購入を開始しました。生活クラブでんきの発電所は現在、国内に69カ所あり、供給量の約9割が、バイオマス・太陽光・風力・小水力発電でつくった再生可能エネルギーとなっています。2030年までに再生可能エネルギー100%を目指しています。

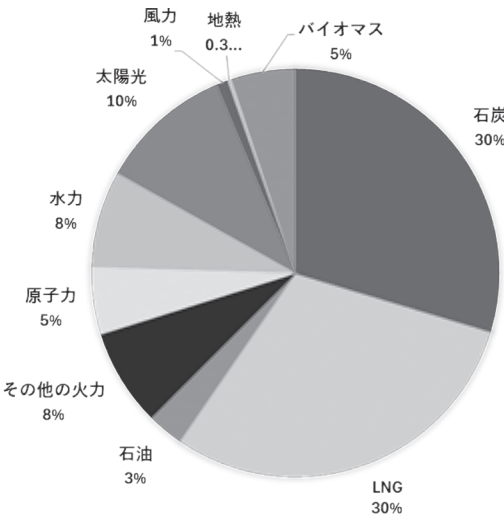
「生活クラブでんき」は、電気を「つくる」「つくった電気を」「つかう」「つくる人とつかう人を」「つなぐ」

温室効果ガスを排出する石炭火力発電

地球の気温は年々上昇傾向にあり、今や「地球沸騰化」と表現され、原因は二酸化炭素などの温室効果ガスの排出とされています。2024年4月30日にイタリアのトリノで開かれた「G7気候・エネルギー・環境大臣会合」では、2030年から2035年で段階的に世界から石炭火力発電をなくしていくという「共同声明」が採択されました。化石燃料を使う火力発電は、温室効果ガスの排出量が多く、中でも石炭火力発電は発電量当たりの排出量が最大のため、廃止が必要とされています。

国内の年間発電量のうち、石炭火力発電の割合は29.7%（図1）となっており、原料

【図1】日本国内の電源構成（2022年）



はすべて輸入に頼っています。廃止までの約10年で、日本はエネルギー政策をどのように選択するのか、これからの動向が注目されます。そして、私たち一人ひとりができること・すべきことを今一度考え、正しい選択ができるよう行動し、私たちの思い描く脱炭素・脱原発の未来を目指しましょう。

地震によるリスクの大きい原子力発電

日本は常に地震の脅威にさらされています。2024年元日に起きた能登半島地震では、揺れの強かった地区にある休炉中の原子力発電所について、安全確保に問題は生じていないとされていますが、一部設備に被害が発生したと報道されています。また、現在の震度階級が制定された1996年以降、大きな地震を観測した記録のない愛媛県でも、この4月に大きな揺れを感じました。愛媛県の沖合には大きな活断層帯があり、稼働中の原子力発電所があります。

大きな地震や津波は、今後いつ起こるか予測できないにも関わらず、日本政府は、「原子力発電は二酸化炭素を排出しない」と謳い、再稼働をすすめようとしています。地域住民による再稼働差し止め裁判もことごとく敗訴しており、40年以上を経過した廃炉予定

だった古炉もそのまま稼働しようとしています。

世界で唯一の核被爆国であり、東日本大震災でも原発事故を経験した日本は、被爆の怖さを知っています。取り返しつかない事故のリスクを冒してまで、原子力発電を続けるべきではありません。

再生可能エネルギーで未来につなぐ

2023年5月より生活クラブでんきの発電所として電力供給している（株）阿寒マイクログリッド（北海道釧路市）は、酪農から出た牛のふん尿を発酵させたガスを発電の原料にした「バイオガス発電」をおこなっています。そのため北海道の酪農と密接な関係を持っています。これまでも、「一般社団法人グリーンファンドあきた」（秋田県）に「ほ市の風車「夢風」でも、発電所のある地域から電気を搾取する関係ではなく、現地で消費材の原材料の栽培をしたり、名産品を使った消費材を共同開発するなど、「つくる」人と「つかう」人を「つなぎ」、双方の地域の共生を目指してきました。コンセントの向こう側の電気について考え、「生活クラブでんき」に切り替えることで、本当の豊かな暮らしを未来の子どもたちにつないでいきましょう。

※「再生可能エネルギー源」とは、「太陽光、風力、その他非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの」として、太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・大気中の熱、その他の自然界に存する熱・バイオマスが定められています。

私たちにできること

①CO2の削減

家庭からの二酸化炭素排出量を用途別（図2）を見ると、自家用自動車が24%でもっとも大きな割合を占めています。家庭での電気使用による排出量も割合が大きく、無理のない節電や最新の節電家電に買い換えることで排出量を減らすことができ、電気代の節約になります。

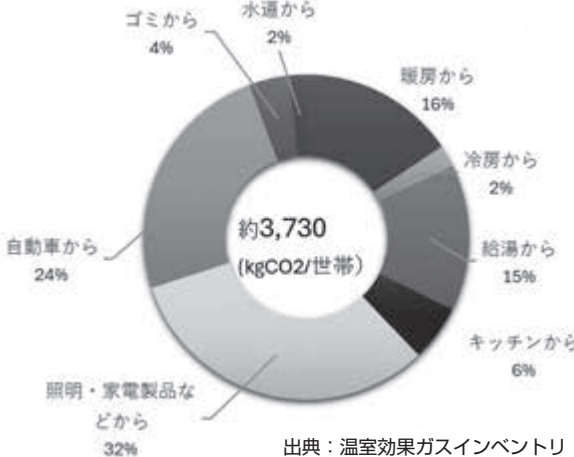
②国への嘆願や反対の署名活動や、脱炭素・脱原発の集まりに積極的に参加しよう

昨年末、総理大臣はじめ、経済産業大臣、環境大臣宛ての「脱原発・脱炭素と再生可能エネルギー転換の加速を求める」署名を組合員に呼びかけ、生活クラブ連合会で12,957筆、エスコープ大阪で3,364筆を集めました。今後も署名活動などに多くの参加を呼びかけ、再生可能エネルギーの発電比率の拡大を訴えていきましょう。

③「生活クラブでんき」に切り替えよう

「生活クラブでんき」は2024年2月から電気料金を値下げし、2023年度に続き2024年度も年間使用量に沿った「利益還元割り戻し」を実施します。

【図2】家庭からの二酸化炭素排出量 用途別内訳（2021年度）



生活クラブ
でんき

生活クラブでんきは、電源の9割以上が再生可能エネルギーです。現在生活クラブ全体で約18,000名が利用しています。

ご加入お申込みは、配達職員、エスコープ大阪本部（072-293-4660）まで。QRコードからも。



泉北ニュータウン地域委員会
子育てひろば
3月6日(水)
梅文化会館(堺市南区)
泉北ニュータウン地域委員
田邊 和美

地域の「子育てひろば」再始動



で、1月からは、梅文化会館の和室を借りて開催しています。「地域ニュース」を見て来られたり、組合員の方に誘われて員外のお友だちが来られたりして、参加する方が増えました。

3月は2組の親子が参加しました。0歳のお子さんは、和室の座布団に寝転がり、お昼寝をしたり元氣よく泣いてあやしてもらったりしていました。お母さんたちは、消費材の『カフェインレスコーヒー』やお菓子を食べながら、おしゃべりを楽しみ、1歳のお子さんは、『かぼちゃの波形ビスケット』や『野菜かりんとう』等をモグモグと食べ、木のおもちやで繰り返し遊んだりして、ニコニコ笑顔で過ごしていたことが印象的でした。

2024年度は5月24日(金)に梅文化会館で第1回がスタートしました。7月は夏休み期間に開催予定で、兄弟姉妹のお子さんと一緒にワイワイと集まって楽しめたらいいなと考えています。ぜひ来てくださいね。

以前の会場は集まりが悪かったの

作品作りとおしゃべりを楽しみながら21年



た時もありましたが、今年で21年目になります。最初の10年は突っ走ってあつという間に過ぎてしまいました。が、次の10年は充実した活動をおこなうことができました。メンバーも歳を重ね、次の10年を考えるとどうなるんだろうと不安もあります。が、現在20名ほどのメンバーで元気に活動しています。

毎回お弁当持参で朝から集まりますが、午前だけ午後だけ参加の方もいます。基本的には手縫いですが、ミシンを使う方もいます。皆さん自分の

生活クラブ共済連
第7回 福祉・たすけあい 研究交流集会
3月26日(火)
アートホテル日暮里
ラングウッド
(東京都荒川区)
泉北ニュータウン地域理事
真柄 恭子

個・孤の時代の高齢期を生き抜くとは

証や手術の承諾書はすぐに用意できるのか。これまで考えたことがなかったです。

横須賀市では終活関連の情報の登録を受け付けており、自分の名前や病歴、緊急連絡先などの11項目から希望の項目を登録し、万が一の際には警察や消防、医療機関に知らせるサービスを提供しているそうです。しかし、まだまだこのような取組みは広がっていません。

3世代が同じ家に住んでいた時代には考えなくてよかったことも、今は真剣に考えなくてはいけない時代になりました。独居になったときに誰に何を伝えなければいけないのか、周りができることは何なのか、何を助けられるのか。考えることがたくさんあると思いました。

「自分にとって今何が一番大事？ 何か起きた時に必要なこと、フォローしてくれる人や場所は？」。社会に求めるだけでなく、自分自身も誰かの助けになる仕組み、システムを考える時期に来ていると思いました。

ペースで、自分だけの作品を作ります。出来上がって誰かにほめられようものならうれしくて、苦勞して作った甲斐もあり、この楽しみをひとりでも多くの方に味わってほしくてサークルを続けてきました。

着物地を扱うちよつとしたコツをマスターすれば、手始めに着物だからできることを利用して作るベストがおすすめです。柄の大きさや色に迷ったらスカートの。次は何を作ろうと夢は広がります。留袖で上着とスカートを作られた方もいました。コートやバッグなどの小物も着物で素敵に作ることができます。作品を作る手が止まり、おしゃべり

前向きに明るく

私は人と話すことと身体を動かすことが大好きで、配達をしながら組合員の皆さんとお話ができ、食材についても学べるこの仕事に魅力を感じて入協しました。夏の暑さなど大変なこともありますが、楽しく働いています。

そんな私ですが、生活クラブの果物は本当においしいと感じています。特に河内晩柑、温州みかん、いちごが驚きのおいしさでした。仕事を終えてから冷蔵庫で冷やした河内晩柑を食べると疲れた体に染みわたり、最高でした。

あとは冷蔵のお肉は外せないですね。しっかりと肉の旨みを感じられます。他の消費材にも共通して言えるのですが、厳しい基準のもとでこのレベルを実現している生産、加工に関わるすべての方々に感謝し、私たちも自信を持ってオススメしています。まだまだ伸びしろだらけの私ですが、どうぞよろしくお願いたします。

職員さんが自己紹介!!

山之内 寛喜(28歳)
エスコープ大阪在籍年数11ヵ月
【共同購入フロア 堺支所】

ドラゴンズファンなのはお許しください。肝心の食に関してですが、食品に関する知識はこれまでほとんどなく、勉強したり、いつも配達しながら組合員の皆さんにいろいろと教えてもらっています。

北浦さんはお母さまがエスコープ大阪の組合員で、子どもの頃から分け合いの豚ブロック肉を食べてきました。その頃食べた豚肉のおいしさが忘れられず、息子さんにも食べさせたいと思い、エスコープ大阪に加入されました。「食が大事」と考えておられ、豚バラ肉を6ブロック注文して、ベーコンは必ず手作りしているそうです。

結婚して漁師の妻となり、漁業

紹介します!!
うちの地域の組合員さんです
**発酵食品を
おすすめしたい**



北浦 美紀子さん
[泉州地域]

組合の地引網などのお世話や、下処理していない「さかな便」のパック詰めや発送作業をされています。また、腸内細菌検査解説員という資格をお持ちで、インスタグラムなどを活用して、腸内細菌の検査をされた人にアドバイスをする活動もされています。

2023年度の「エスチャネル」に参加され、エスコープ大阪の取り組みやさまざまな消費材の食比べなどを経験。他のエスチャネル登録者と意見交換し、一緒に活動していくために、地域委員になられました。今後は専門の腸内フローラの勉強を続けながら、発酵食品のことや食の大切さを発信していきたいとのこと、活躍が楽しみです。

聞き手 岡澤 久子(泉州地域理事)



第12回
理事会報告 <5月6日>

【3月度決算報告】

- 供給高 2億1,340万円(前年同月比103.9%)
※配達日数1日多い
- 組合員数 18,441名(前月比△121名)
- 一人当たりの出資金 93,155円

【4月の放射能検査結果】

4月は連合消費材544検体、関西消費材1検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①「(一社)生活クラブエネルギー事業連合」役員候補の選出
- ②「大阪府生活協同組合連合会」第63回通常総会代議員選出
- ③「日本生協連」第74回通常総代会および「コープ共済連」第16回通常総会の代議員選出

【協議事項】

- ①エスコープ大阪第58回通常総代会議案書の最終確認
- ②エスコープ大阪第58回通常総代会の運営
- ③各地域の「確認する会」報告の共有
- ④芝本理事の常務理事役割について
- ⑤「紀伊半島地域協議会」への対応と今後の事務局対応について
- ⑥福祉分野の第7次中期計画の補足計画
- ⑦エスコープまつり
- ⑧7月全地域統一取り組み「エコロ制度」リーフレット保存版について

【報告承認事項】

- ①「旬菜セット」実験取り組み 新品目供給「ニンニク」について



生産者紹介 ●●●●●●▶

いっしょに創る未来



ではありませんが、「兵庫産あかもくの佃煮」の原料のあかもくは漁船の進行為妨げるので邪魔ものと

最近ではありませんが、海水の栄養分が下がっていることが大きいと考えています。以前の海は生活用水の垂れ流しで汚れてしまい、それをきれいな海に戻すために「瀬戸内海環境保全特別措置法」など施行され、規制がかけられました。それによって海はきれいになりましたが、規制が厳しすぎて必要な栄養分(窒素・リン)までなくなっていました。

先日、エスコープ大阪の「気候危機フォーラム(1面記載)」に参加し、消費材のことだけでなく、海の現状なども知らせていくことは大切だと思いました。今の海の現象は多様な原因が絡みあって起こっていると思います。これからは組合員の方とそのような海の状況についての話をする機会も増やしていきたいと思っています。

兵庫県明石市

兵庫県漁業協同組合連合会

流通加工部 水産加工場主任 鳥山 英則さん

私たちは、以前から生産者と組合員が直接顔を合わせて議論し、一緒に消費材を作り、運動をすすめてきましたが、生協設立から50年以上経ち、世代変わりしている生産者も増えてきました。そこで、このコーナーでは次世代の生産者や「近畿親生会」の生産者に登場していただき、抱負などを語っていただきます。

豊かな海を守る

兵庫県漁業協同組合連合会(以下、

兵庫県漁連)では、漁師のための漁

具や燃料などの販売や揚げた原

料を使った水産加工品を生産した

り、広報をおこなったりしていま

す。19週配布のカタログで取り扱っ

てもらいましたが、魚介をたくさん

食べてもらえるように「瀬戸内海産

小えびの唐揚げ」のような調理済み

ですぐに食べられるものを増やし

ています。また、未利用魚を加工品

にすることもすすめています。魚

して処分していました。しかし、それを佃煮に加工することによって消費材として食べてもらうことができ、漁師の収入にもつながっています。

最近では兵庫県名物の明石だこやいかなごの水揚げが少なくなり、供給が難しくなっています。今年は、兵庫の春の風物詩である「いかなごのくぎ煮」を作ることができませんでした。その代わりに最近真鯛が獲れるようになってきました。気候危機による海水温の上昇や黒潮の蛇行がずっと続いていることも原因ではありますが、海水の栄養分が下がっていることが大きいと考えています。以前の海は生活用水の垂れ流しで汚れてしまい、それをきれいな海に戻すために「瀬戸内海環境保全特別措置法」など施行され、規制がかけられました。それによって海はきれいになりましたが、規制が厳しすぎて必要な栄養分(窒素・リン)までなくなっていました。

そこで、兵庫県漁連では魚が住みやすい環境づくり、豊かな海を守るための取り組みに力を入れていきます。兵庫県内の団体と浜の清掃活動をしたり、植林をしたりしています。ため池にたまっている泥水(栄養分)を海に流すような取り組みもしています。また、「瀬戸内海環境保全特別措置法」改定を求める運動もおこなってきました。それにより、2023年に10年越しに規制が変わりました。

おたよりネット



「りっぶる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

255号4面「いっしょに創る未来」を読んで

紙面モニターHさん

海の中が変わってきたというお話を読み、地球温暖化の影響かなと思いました。都会に住んでいるとエネルギーを浪費しがちな一方で、環境の変化を感じるこ

は難しいです。生産者からこのようなことを伝えるチャンネルを持っていることも私たちの生協の良いところだと思います。

キトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●組合員コード

●お名前

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
257号(2024.6.24)

編集後記

今年4月の気温は、統計開始以降、最も高い値となりました。このまま高温傾向が続く、この夏も厳しい暑さが予想されています。いったい、今年はどのくらい真夏日になってしまうのでしょうか。今から、暑さに備えて体づくりをしておいた方がよさそうですね。(Y)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/